

園芸部

あなたの自慢の鍋レシピを募集!!
『2018 鍋奉行も納得。福鍋満腹絶倒計画』

J A全農福島と福島民友新聞社が主催で、「鍋奉行も納得。福鍋満腹絶倒計画」を開催中です。この企画は、東日本震災以降、風評被害の影響などで落ち込んだ福島県産農作物の消費拡大へつなげることを目的として、一昨年に初めて実施され、今年で3回目となります。

あなたの自慢の鍋レシピを、ぜひ応募してみませんか？

【参加資格】 1組2名までで、誰でも参加OK。選出された場合、当日参加可能で自分たちで調理が出来る方。

【応募方法】 応募用紙は、福島民友新聞のHPからダウンロード、または県内JA直売所に設置。応募用紙をメール、FAX、郵送でご応募下さい。

【応募期間】 11月1日(木) 必着まで。

【お問い合わせ】 「鍋奉行も納得。福鍋満腹絶倒計画」事務局まで
住所 〒960-1864 福島市柳町4番29号 福島民友新聞社 広告局内
TEL 024-1523-1457
FAX 024-1523-1681
E-mail: nabeyu@minyu.jp



たくさんのご応募お待ちしております!!

畜産部

牛肉・豚肉・牛乳づくりで活躍されている女性の皆様をおもてな。し

9月21日(金)、摺上亭大鳥(福島市飯坂町)で「畜産女性研修会」を開催しました。この研修会は、畜産経営を担う女性を応援し、畜産の活性化を図ることを目的として毎年開催しています。

今年もフリーアナウンサーの久田直子氏より講演をいただきました。「女性の健康」と題して、「100歳を超えても人生を楽しめる素敵な女性でいられるように」と、女性の身体の特徴や特有の病気についての話をいただき、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。

また、講演後の食事会では、「福島牛サーロインロースト」や「麓山高原豚トマト煮」牛乳を使った「洋風茶碗蒸し」を始めとした福島県産農畜産物中心の料理が並びました。デザートには当会が運営している「カザロ」のジェラートが振る舞われ、その美味しさを堪能していただきました。また、福島復興応援をいただいているキリンビール株式会社 橋本岩男福島支社長からは活動内容の紹介があり、飲料の協賛をいただきました。

研修会の終盤には、豪華景品が当たる抽選会も開催され、会場は大いに盛り上がりました。



会場の様子



抽選会で参加者に景品を手渡すJA全農福島運営委員会の結城副会長(左)



講演を行う久田氏

園芸部

第45回花き品評会開催

8月31日(金)、JA農産物直売所愛情館(旧店舗)で、福島県花き振興協議会とJA全農福島が主催となり、花き品評会を開催しました。

た。「楽しかった」「また機会があれば参加したい」などの感想があり、福島の花に触れ、知っていたく機会となりました。

今回は、カスミソウ、リンドウ、トルコギキョウ、小菊、花木類など15種類以上の品目・164点の出品がありました。丹精込めて育てられた花の数々に、審査も白熱しましたが、そのなかから金賞3点、銀賞12点、銅賞18点が決定しました。審査員からは、「花付き、花のポリウム、発色ともに素晴らしい」「今後に期待できる」などの講評をいただきました。生産者のみならず、お忙しいところ出品いただき誠にありがとうございました。

なお、金賞受賞者は次のとおりです。

- 農林水産大臣賞 宿根カスミソウ (JA会津よつば 菅家 博昭)
- 東北農政局長賞 リンドウ (JA福島さくら 合子りんか)
- 福島県知事賞 その他枝物 夏はぜ (JA東西しらかわ 鈴木 茂)

9月1日(土)は一般公開とアレンジメント教室、出品物の販売を行いました。



左から東北農政局長賞、農林水産大臣賞、福島県知事賞

JAパールライン 福島株

脱気米設備の取得について

JAパールライン福島株は、平成28年4月に旧日和田工場から須賀川工場に移転し、日々精米製造に励んでおります。今年の5月には脱気米設備を導入し、真空状態及び窒素充填の製品を販売することが可能となりました。

を製造していく予定です。お取引様向けのノベルティや冠婚葬祭での返礼品など、可能となる用途は多岐にわたります。ご用命等ございましたら、パールライス事業部までぜひご連絡ください。問合せ先：パールライス事業部 0248-7513330

お米は、空気中の酸素と結合(酸化)したり、湿気を吸うことにより劣化します。しかし、脱気した真空状態にすることで品質の安定が期待できます。精米したての状態でお客様の手元に届けることが可能となりました。

現在は300gの平袋、2kgの窒素充填が主体ですが、今後はキューブ袋や、さらに少量の製品



脱気米製造設備



300g 平袋



2kg 脱気米